

少子化が日本社会に 問う問題

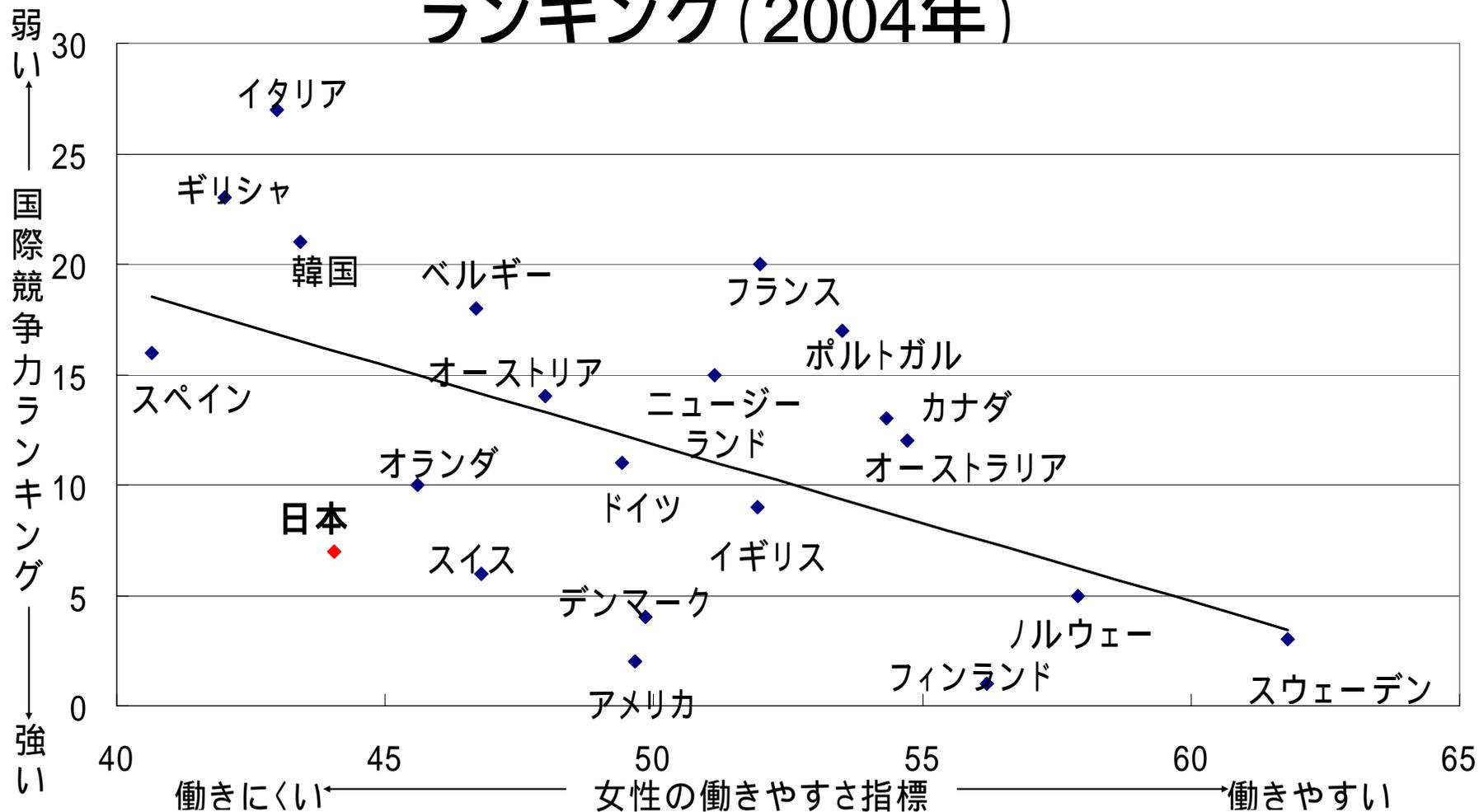
慶応義塾大学
樋口美雄

二つの神話

- 女性の職場進出は、出生率を引き下げる
- 女性の活用は人件費を引き上げ、企業競争力を低下させる

社会や企業の工夫次第

図1 女性の働きやすさ指標と国際競争力 ランキング(2004年)

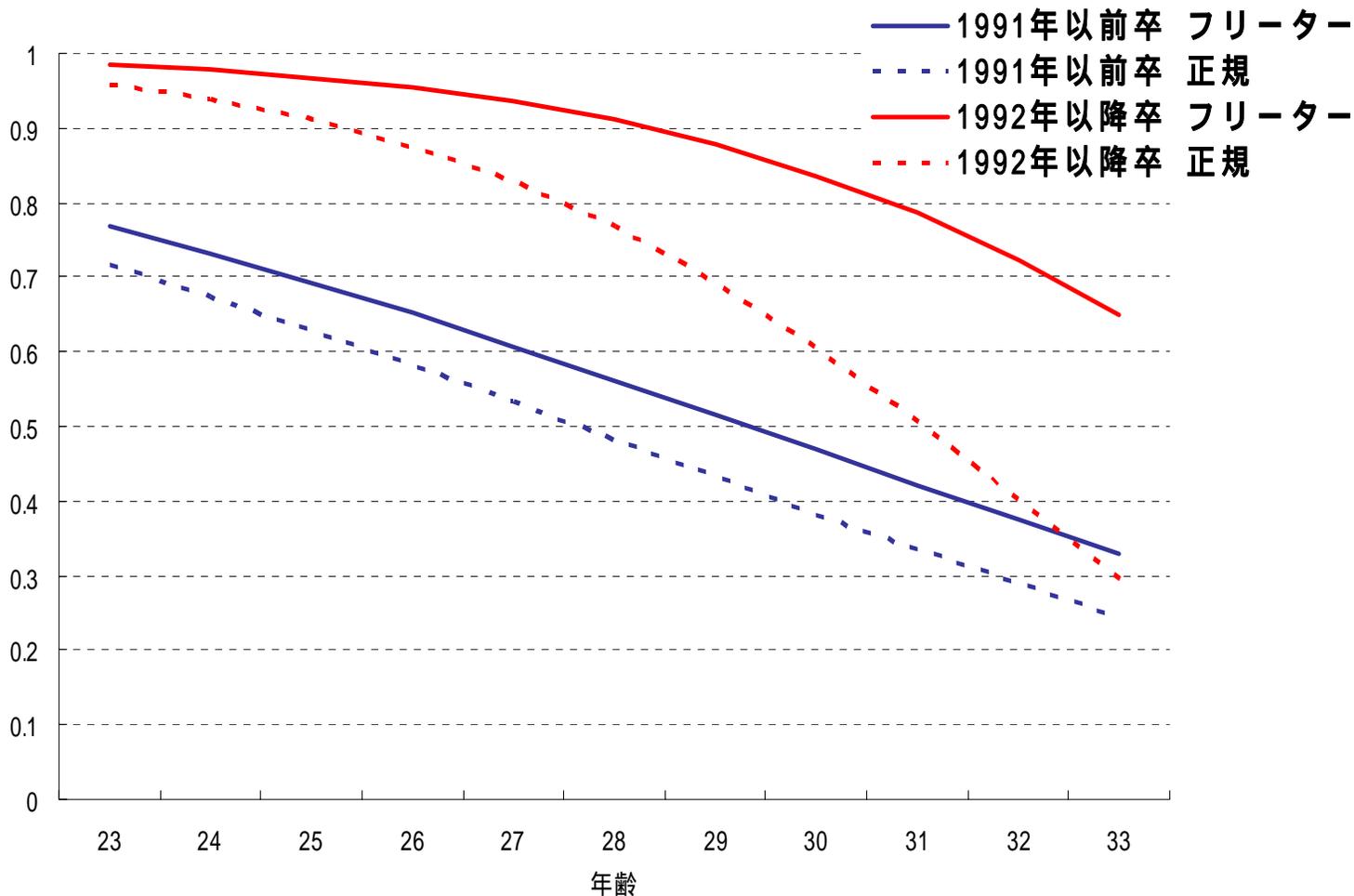


出所: World Economic Forum (2004) Global Competitiveness Report 2004-2005.
 OECD Social Expenditure Database(2004年)、OECD Social Indicators(2002年)、
 国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集(2004年版)」

一つの真実

- 若者の将来不安・所得低下は晩婚化・非婚化をもたらし、少子化に拍車をかける

図2 フリーターと正社員の未婚率(男性)



1991年以前: $(t;x) = 0 \cdot \exp(-0.236 \cdot \text{フリーター} + 0.201 \cdot \text{短大} \cdot \text{高専} - 0.145 \cdot \text{大学} - 0.113 \cdot \text{その他} + 0.448 \cdot \text{学卒時失業率} - 15.074)$

1992年以降: $(t;x) = 0 \cdot \exp(-1.039 \cdot \text{フリーター} + 0.210 \cdot \text{短大} \cdot \text{高専} - 1.315 \cdot \text{大学} - 1.070 \cdot \text{その他} + 0.083 \cdot \text{学卒時失業率} - 31.307)$

ワイブル分布で特定化した推計結果を利用して未婚残存確率をシミュレーション。大卒男性について、学卒時失業率を3.5%として計算。